

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
阿波市	大俣地区	令和3年9月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	435ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	218ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	36ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7ha
(備考)	

2 対象地区の課題

特定農山村法に基づく特定農山村地域に指定され、中山間地域等直接支払制度を活用し、農業生産基盤の維持に努めている。
75才以上で後継者未定の農業者の耕作面積が、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも多くなっている。また、アンケートの回答がない後継者未定の農業者も多数いることが見込まれ、新たな農地の受け手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

大俣地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者等の45経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向把握と農地中間管理機構の活用方針

農業委員会、農業協同組合等の関係団体と連携して、農地の貸付け等の意向把握に努め、将来の経営農地の集約化を目指し、農地中間管理機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

基盤整備への取組方針

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、地域の意向に基づき、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備について検討する。

作物生産に関する取組方針

市のブランド育成品目を中心に、収益性の高い園芸作物の生産や、特産加工に向けた作物の生産に取り組む。

鳥獣被害防止対策への取組方針

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業等を活用しての捕獲活動や、捕獲体制の構築等に取り組む。

2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和3年度〕		計画 〔令和13年度〕		人・農地プラン 登載地区		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	八幡	市場	大俣
認農		水稲・ブドウ	1.6 ha	水稲・ブドウ	1.6 ha			○
認農法		水稲・レタス・ミニ トマト・ナス	7.8 ha	水稲・レタス・ミニ トマト・ナス	9.8 ha	○	○	○
認就		水稲・ナス・ブ ロッコリー	0.8 ha	水稲・ナス・ブ ロッコリー	2.8 ha		○	○
認就		ブロッコリー・ニ ラ・ネギ	0.8 ha	ブロッコリー・ニ ラ・ネギ	2.0 ha			○
認就		菜の花・ほうれん 草・キュウリ・パ セリ	0.5 ha	ほうれん草・キュ ウリ・パセリ	0.3 ha		○	○
認農法		トマト・キュウ リ・ナス	1.6 ha	トマト・キュウ リ・ナス	2.0 ha		○	○
認農		水稲	8.0 ha	水稲	8.0 ha			○
認農		水稲・麦・水稲作 業受託	20.7 ha	水稲・麦・ブロッ コリー・水稲作業 受託	40.0 ha			○
認農		水稲・ネギ・ブ ロッコリー	2.1 ha	水稲・ネギ・ブ ロッコリー	2.1 ha			○
		レタス・ほか露地 野菜	2.2 ha	レタス・ほか露地 野菜	3.2 ha			○
認就		ナス・レタス・白 菜	1.2 ha	ナス・レタス・白 菜	1.6 ha		○	○
		ブロッコリー・レ タス・枝豆・ダイ コンなど	1.6 ha	ブロッコリー・レ タス・枝豆・ダイ コンなど	2.6 ha	○	○	○
認農法		トマト	1.5 ha	トマト・果菜類	2.0 ha	○	○	○
認農		水稲・トマト・ニ ンニク・玉ねぎ・ スイカ	11.3 ha	水稲・トマト・ニ ンニク・玉ねぎ・ スイカ	13.0 ha	○	○	○
		水稲・ナス・菜の 花	3.6 ha	水稲・ナス・菜の 花	4.6 ha		○	○
		水稲・ブロッコ リー・ナス	2.9 ha	水稲・ブロッコ リー・ナス	3.6 ha			○
		水稲・ブロッコ リー	0.8 ha	水稲・ブロッコ リー	0.8 ha			○
認農		水稲・大豆・各種 露地野菜など	1.0 ha	水稲・大豆・各種 露地野菜など	1.2 ha			○
認農		水稲・ブロッコ リー・ネギ・ホウ レン草	2.0 ha	水稲・ブロッコ リー・ネギ・ホウ レン草	2.0 ha			○

2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和3年度〕		計画 〔令和13年度〕		人・農地プラン 登載地区		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	八幡	市場	大俣
		水稲・ブロッコ リー・その他野菜	3.6 ha	水稲・ブロッコ リー・その他野菜	3.6 ha			○
認農		水稲・ブロッコ リー・白菜など	8.5 ha	水稲・ブロッコ リー・白菜など	9.5 ha		○	○
認農		水稲・ブロッコ リー	3.0 ha	水稲・ブロッコ リー	3.0 ha			○
		水稲・ブロッコ リー・ナス	2.5 ha	水稲・ブロッコ リー・ナス	2.5 ha			○
認農 法		養豚	(母豚)100頭 ha	養豚	(母豚)100頭 ha			○
		—	ha	レタス・ブロッコ リー・ほうれん 草・水菜	0.8 ha			○
		水稲・ブロッコ リー	1.5 ha	水稲・ブロッコ リー	1.5 ha		○	○
認農		ナス・ピーマン・ ほうれん草・ネギ など	0.7 ha	ナス・ピーマン・ ほうれん草・ネギ など	0.9 ha			○
認農		水稲・酒米・いち ご・ミニトマトな ど	1.6 ha	水稲・酒米・いち ご・ミニトマトな ど	1.6 ha			○
認農		水稲・白菜・ブ ロッコリー・キャ ベツ	12.6 ha	水稲・白菜・ブ ロッコリー・キャ ベツ	12.6 ha	○	○	○
認農		酪農 水稲・WCS・人参	25頭 4.1 ha	酪農 水稲・WCS・人参	25頭 4.1 ha			○
認農 法		肉用牛	72頭 ha	肉用牛	120頭 ha			○
認農 法		ネギ・ニラ・ブ ロッコリー	2.1 ha	ネギ・ニラ・ブ ロッコリー	4.0 ha			○
認農 法		野菜苗・稲苗等	2.3 ha	野菜苗・稲苗	2.7 ha			○
認農		水稲・キャベツ・ レタス・ブロッコ リー	2.1 ha	水稲・キャベツ	1.8 ha	○	○	○
認農		水稲・ブロッコ リー・ナス	6.2 ha	水稲・ブロッコ リー・ナス	6.2 ha		○	○
認農		養豚 肉用牛	180頭 140頭 ha	養豚 肉用牛	330頭 162頭 ha			○
			0.0 ha	ブロッコリー	0.7 ha			○
		水稲・ブロッコ リー	2.0 ha	水稲	2.0 ha			○

2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和3年度〕		計画 〔令和13年度〕		人・農地プラン 登載地区		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	八幡	市場	大俣
		レタス・ネギ・ キャベツ・水菜	0.1 ha	レタス・ネギ・ キャベツ・水菜	0.1 ha			○
認就		ミディトマト・ミ ニトマト	0.1 ha	ミディトマト・ミ ニトマト・小玉メ ロン	0.5 ha	○	○	○
		ナス・パセリ・ブ ロッコリー	0.6 ha	ナス・パセリ・ブ ロッコリー	0.6 ha			○
		水稻	0.7 ha	水稻	0.8 ha			○
		養蜂	50群 ha	養蜂	200群 ha			○
認就		ブロッコリー・ナ ス・きぬさや	0.3 ha	ブロッコリー・ナ ス・きぬさや・ネ ギ	1.1 ha			○
		作付なし	0.0 ha	水稻・青ネギ・ブ ロッコリー	0.5 ha			○